



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.12
令和7年3月6日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】
りこうで たっしやで
ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



6年生キャリア教育「DREAMS COME TRUE」

校長 遠藤 隆典

令和6年度も残りわずかとなってきました。先週には年度最後の保護者会が行われましたが、大変多くの保護者に皆さまにご参加いただきました。ありがとうございました。各学年、春からの進級や進学へ向けた意識を高めながら、1年間の学習のまとめを行い定着を図る取組を進めている所です。特に6年生は、卒業までカウントダウンとなりました。前向きな気持ちで心を整え、いい卒業式にしようという思いを高められるように残された日を充実させられるように努力していきます。

さて、小学校を卒業していく6年生に本校では、将来の夢・目標につながる職業観・勤労観の醸成を目指したキャリア教育「DREAMS COME TRUE」を実施しています。

講師をしていただいたのは、①小樽市出身でプロフットサルチーム「エスポラーダ北海道」の元選手で普及・育成担当スクールダイレクターの吉田順省氏 ②小樽実戦格闘空手道場師範の佐藤雅美氏 ③4年生の時に保健の授業をしていただいた小樽協会病院産婦人科医の黒田敬史氏です。

講師の皆さんにはこれまでの歩み、仕事を目指した動機、人生のチャレンジを通じて得た大切な事、仕事の内容、どんな思いを持って仕事に取り組んでいるのかなどをお話していただきました。夢・目標へ向け自分で努力して動き出すことや諦めずに努力する大切さ、厳しくても人や周りのせいにはしないで自分の責任で取り組む大切さ、そして、いつか夢・目標の実現のために必死にもがき苦しみながら孤独の中で努力しなければならない場面が来ることなど、これから人生を切り拓いていく子どもたちに熱く話をしてくださいました。

多くの6年生が、背筋を伸ばし真剣な目を向け、言葉の一つ一つに耳を傾けて聞いていました。心に響く学びになっていると感じました。

今年度も大変多くの地域の皆さまに講師や授業サポートなど本校の教育活動へご尽力いただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

※6年生は、5日には労働金庫さんによる金融教育を体験しました。生活上とても重要なお金や使い方を学びました。初の試みでしたが、生きていく上でお金は重要な視点です。今後考えていくきっかけになればと考えています。



令和6年度 全国体力・運動能力調査結果（第5学年）について

5年生（男子）

5年生（女子）



ピンク部分が本校の結果です。黒い線が全国平均です。

全国の5年生を対象として実施された「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が公表されましたので、本校5年生の結果や傾向をお知らせ致します。

男子は「上体起こし」が全国平均を上回り、「ボール投げ」「シャトルラン」「反復横跳び」が全国平均を下回りました。女子は、「上体起こし」「長座体前屈」が全国平均を上回り、「ボール投げ」「シャトルラン」「反復横跳び」が全国平均を下回りました。子どもたちが、様々な運動に親しむ機会が今後も増え、運動習慣が定着し、体力・運動能力がこれからも高まっていけばと考えています。

【今後の取組】

- ・本調査結果の分析を行い、児童の体力・運動能力、運動習慣等の課題を明らかにし、「体力向上改善プラン」の見直しを行います。体力向上改善プランをもとに学年ごとの目標を設定し、西陵中学校の体育の先生と連携した取組を実施するなど、年間を通した体力向上の取組を進めます。
- ・家庭と学校が一体となり「生活リズムチェックシート」や「おたるスマート7」の取組を進め、運動習慣を取り入れた生活習慣の改善を図ります。

北海道の「心臓」と呼ばれたまち・小樽 川柳コンテストに本校児童入賞！

今年1月に募集された小樽市の川柳コンテストに、本校児童が郷土学習で学んだことを生かし川柳作品を応募して4名が入選しました。

これは、小樽市のOtaru Next 100実行委員会の主催により実施されたもので、「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」のストーリーや構成文化財をとおして、自分が感じる小樽の豊かな自然・文化・歴史などの魅力を表現した川柳によるコンテストです。子どもたちは、端末を使って作品を応募しました。郷土学習で学んだ小樽の歴史や小樽の魅力を考え、進んでチャレンジしていた児童が多くいたことをうれしく感じています。

★作品を紹介します！

3年阿彦さん 「昔はね 運河に船が あふれてた」

4年町田さん 「きらきと ガラスも人も ひかる街」

5年湊谷さん 「運河っぱ 小樽運河の マスコット」

5年麦田さん 「北の芯 運河にうつる 赤レンガ」



目指す学びのロゴマークが変わりました！

稲穂小学校では、目指す学びとして「主体的な学び」に重点を置いて、授業の充実を目指す取り組みを進めています。そのシンボルとしてロゴマークを、各種お便りに使っています。